

# A LINE IS A CRACK

荒川修作 展

2022.7.15 Fri — 9.30 Fri

# 荒川修作 展 A LINE IS A CRACK

2022年7月15日(金) — 9月30日(金)

開館時間 / 午前9時～午後4時30分 観覧無料

休館日 / 第2・4土曜日 日曜日 祝日

協力：荒川修作+マドリン・ギンズ東京事務所、Reversible Destiny Foundation

荒川修作(1936-2010)は名古屋生まれ、1960年代からニューヨークを拠点に世界中で活躍した美術家です。特に1970年に発表された「意味のメカニズム」のシリーズは、意味と認識についての多くの思考実験を促すものであり、美術のみならず科学や哲学の分野にも大きな影響を及ぼしました。その後、荒川の探求は平面作品にとどまらず、人間の身体、存在そのものへと発展し、鑑賞者を巻き込む体験型作品を経て、養老天命反転地などの建築作品へと到ります。

本展では、「意味のメカニズム」の中の「A LINE IS A CRACK」、直訳するならば「線とは裂け目である」という言葉に着目し、平面の裂け目の向こう側、身体や建築へと向かう契機となった時期の関連作品23点を展示します。

## [関連イベント]

塚原史(早稲田大学名誉教授)講演会

『荒川修作再入門——「意味のメカニズム」から「天命反転」へのパサージュとしてのCRACK』

7月30日 14:30-15:30 (当館展示室にて)

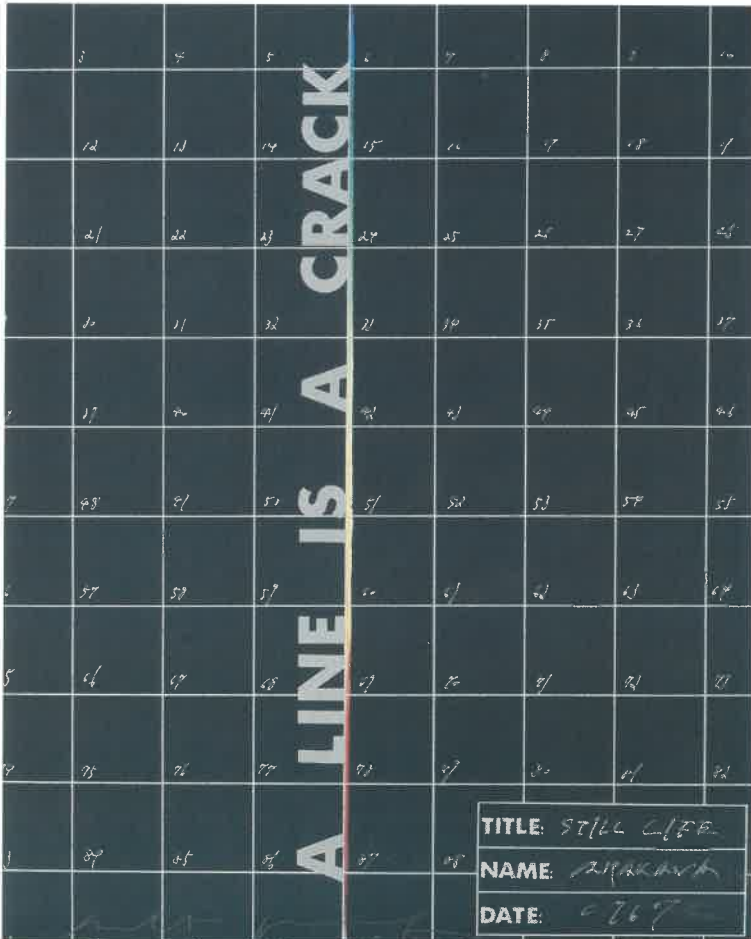
ダダ・シュルレアリスムの研究者で、晩年の荒川修作と親交があり、単行本では唯一のアラカワ読本『荒川修作の軌跡と奇跡』の著者である塚原史先生による講演会を開催いたします。

申込方法：参加をご希望の方は、当館メールアドレスinfo@gi-co-ma.or.jpまで、件名を「講演会参加申込」とし、本文にお名前とご年齢をご記入の上お申し込み下さい。 申込締切：7月28日(木)

担当学芸員によるギャラリートーク (事前申込不要)

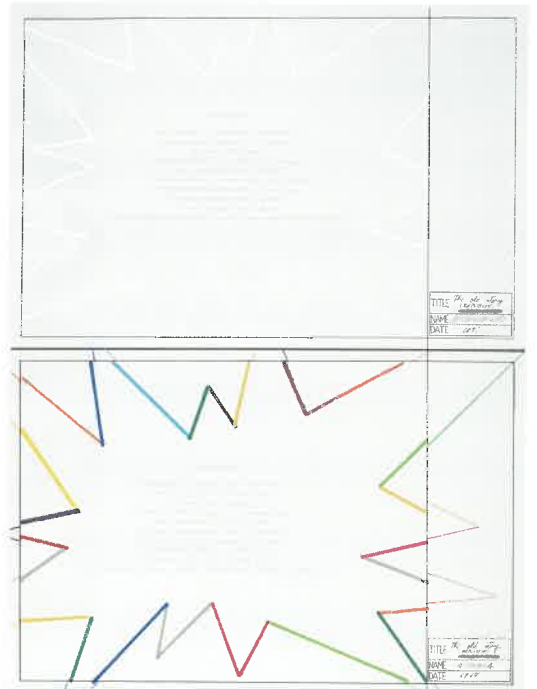
7月16日、8月20日、9月17日 (会期中第3土曜日) 14:30-15:00 (当館展示室にて)

※新型コロナウイルス感染症等の影響により、各イベントは中止や変更になる場合がございます。最新情報を当館ホームページまたは公式Twitterアカウントにてご確認の上ご来館をお願いいたします。



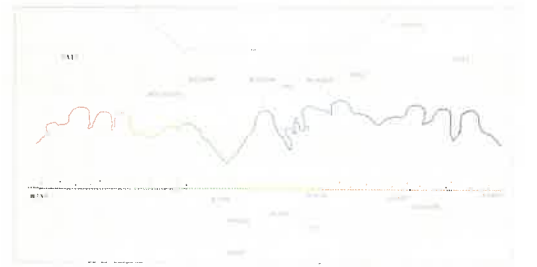
(Still Life) 1967

© 2022 Estate of Madeline Gins. Reproduced with permission of the Estate of Madeline Gins.



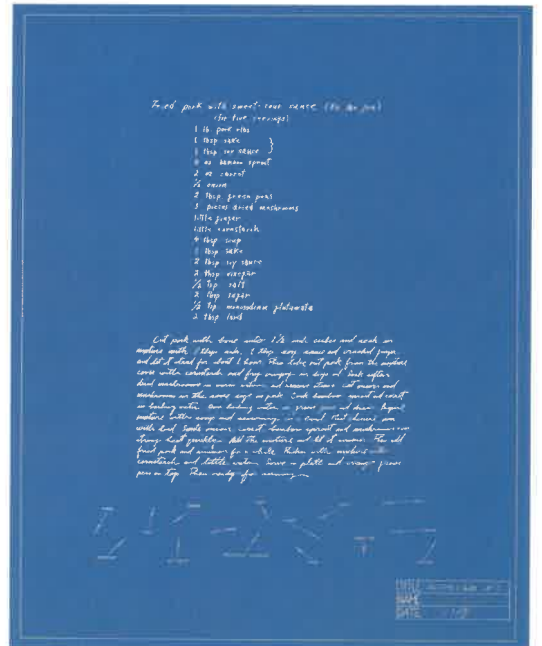
(The Old Story (Explosion)) 1967

©2020 Estate of Madeline Gins. Reproduced with permission of the Estate of Madeline Gins.



(Next to the Last) 1967-71

©2020 Estate of Madeline Gins. Reproduced with permission of the Estate of Madeline Gins.



(Recipe (Taste it)) 1968

©2020 Estate of Madeline Gins. Reproduced with permission of the Estate of Madeline Gins.

## 岐阜現代美術館 Gifu Collection of Modern Arts

〒501-3939 岐阜県関市桃紅大地1番地(鎮屋バイテック会社 関工園内)  
Tel : 0575-23-1210 <http://www.gi-co-ma.or.jp>

[公共交通機関利用の場合]

東海道新幹線：岐阜羽島よりタクシーで60分 / JR 東海道本線：岐阜駅よりタクシーで30分  
名鉄犬山線：鷺沼駅よりタクシーで20分、三軒駅よりタクシーで15分

[車の場合] 東海北陸自動車道：関ICから約5分